

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時32分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020500	資源循環エネルギーセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00666	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	20	廃棄物対策の推進		
予算事業	10588	01-04-02-01-04-01-01	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業（清掃総務費）	
所属長	白田康雄	担当者（内線） 福山（562-1402）		
根拠法令等	広域臨海環境整備センター法			
事業開始年度	昭和57年度	直近の改正	平成23年度	
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	資源循環エネルギーセンターの焼却灰		
目標	土地利用が進み市内では一般廃棄物の埋立ができる最終処分場を確保することが困難な状況であるため、資源循環エネルギーセンターの焼却灰を適正に処理できる用地を他で確保すること		
結果	大阪湾広域臨海環境整備センターが管理する一般廃棄物の最終処分場は開設以来、事前審査や受入検査を行い、適正な最終処分ができています。		
事業概要	本事業は、大阪湾広域臨海環境整備センターが実施する一般廃棄物の最終処分場の建設、改良及び維持管理等の整備事業や次期計画の環境調査に対する団体別負担金です。同センターは近畿2府4県168市町村から出資を受け、大阪湾フェニックス計画に基づき、大阪湾の埋立により、一般廃棄物の最終処分を行い、埋め立てた土地を活用して、港湾機能の整備を図っています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	大阪湾広域臨海環境整備センター
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	埋立処分場の整備事業
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,576	2,755	3,326	3,241	2,320
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	7,661	6,705	7,352	7,267	6,293
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,661	6,705	7,352	7,267	6,293
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,661	6,705	7,352	7,267	6,293
財源計(C+D)	7,661	6,705	7,352	7,267	6,293

所属	資源循環エネルギーセンター
事務事業番号	00666

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	本市をはじめ近畿2府4県168市町村は、大阪湾広域臨海環境整備センターが実施する最終処分場の整備事業や次期計画の環境調査に対して団体別負担金を支出しています。	目標	長期的かつ安定した一般廃棄物の埋立ができる最終処分場を確保すること
成果内容	廃棄物の適正な埋立処分と港湾の秩序ある整備を大阪湾広域臨海環境整備センター、地方公共団体及び港湾管理者が一体で推進しています。	達成状況	廃棄物の適正処理と都市の活性化ができている画期的な事業です。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 年度により多少の増減はあるが概ね事業費は平均している。)</p> <p>【進捗状況の評価】 本センターから搬出された焼却灰等は大阪湾で埋立処分されており、進捗状況は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 本市は埋立処分場を持たないため、今後も本事業を継続することが妥当である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	資源循環エネルギーセンター	事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00666				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	98	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資源循環エネルギーセンター	事務事業番号	00666
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市は負担金を支出し、大阪湾広域臨海環境センターに一般廃棄物の最終処分を委託しています。同センターは、大阪湾フェニックス計画に基づき、埋立ができる最終処分場を大阪湾に設けて、本市をはじめ近畿2府4県168市町村から排出される一般廃棄物を受け入れて、適正な最終処分をしています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時33分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020500	資源循環エネルギーセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00667	資源循環エネルギーセンター施設管理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10603	01	04	02	04	02	01	01	資源循環エネルギーセンター施設管理事業（塵芥焼却処理費）
所属長	白田 康雄			担当者（内線）福山（562-1402）					
根拠法令等									
事業開始年度	平成21年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	資源循環エネルギーセンター		
目標	長期的、効率的な維持管理により施設の長寿命化を図ること		
結果	施設更新期間を延ばすことにより、市民への負担低減を図れます。		
事業概要	資源循環エネルギーセンターの施設管理運営の経費です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社タクマテクノス西日本支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	施設維持管理業務、機器運転業務、清掃業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	160,830	133,922	157,946	116,466	125,378
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	5.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	32,208	39,725
総事業費(A+B)	193,510	165,522	190,154	148,674	165,103
特定財源(C)	68	64	79	35	47
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	68	64	79	35	47
市負担(D)	193,442	165,458	190,075	148,639	165,056
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	193,442	165,458	190,075	148,639	165,056
財源計(C+D)	193,510	165,522	190,154	148,674	165,103

所属	資源循環エネルギーセンター
事務事業番号	00667

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	施設の維持管理業務	目標	施設の長寿命化や運営効率による予算削減
成果内容	様々な観点から事業を点検し、物品費の抑制、光熱水費削減を図っています。	達成状況	センター建設から経年していくことで、今後は事業費の増加が予想されますが、今年度予算は極端に増額とらないように努めます。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 年度により多少の増減はあるが概ね事業費は平均している。)</p> <p>【進捗状況の評価】 施設管理上大きなトラブルも無く進捗状況は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 今後経年による事業費増加が予想されるが、極端な増額とらないように計画し、事業を継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	資源循環エネルギーセンター	事業名	資源循環エネルギーセンター施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00667				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資源循環エネルギーセンター	事務事業番号	00667
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ごみの焼却施設は、第一に市民の安全安心な生活を守る施設であると認識しています。トラブル等でごみ処理に支障をきたすことができない施設のため、各視点からの評価は、すべてにおいて高い評価となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時33分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020500	資源循環エネルギーセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00668	資源循環エネルギーセンター塵芥焼却処理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10604	01	04	02	04	03	01	01	資源循環エネルギーセンター塵芥焼却処理事業（塵芥焼却処理費）
所属長	白田 康雄			担当者（内線）	福山（562-1402）				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	昭和29年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	手数料の改正、法改正による整備（一般廃棄物処理施設技術管理者の資格）								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	吹田市から排出される一般廃棄物のうち、燃焼ごみ			
目標	対象物の焼却処理と残灰等の処理			
結果	吹田市域の一般廃棄物の適正な処理を行っています。			
事業概要	吹田市域から排出される一般廃棄物のうち、燃焼ごみの焼却処理及び残灰、熔融処理物の処理を行います。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社タクマテクノス西日本支社	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設維持管理業務、機器運転業務、清掃業務	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,186,175	1,208,692	1,316,179	1,335,829	1,326,378
人件費職員数(人)	21.30	22.30	22.50	22.50	22.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	174,021	176,170	181,170	181,170	178,763
総事業費(A+B)	1,360,196	1,384,862	1,497,349	1,516,999	1,505,141
特定財源(C)	442,651	457,145	432,653	415,660	427,522
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	442,651	457,145	432,653	415,660	427,522
市負担(D)	917,545	927,717	1,064,696	1,101,339	1,077,619
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	917,545	927,717	1,064,696	1,101,339	1,077,619
財源計(C+D)	1,360,196	1,384,862	1,497,349	1,516,999	1,505,141

所属	資源循環エネルギーセンター
事務事業番号	00668

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	計画焼却量に対して実際に焼却した量	t	目標値	104,000.00	105,000.00	103,000.00
			実績値	98,922.03	101,377.51	
			達成度(%)	95.10	96.60	
目標値の積算方法	前年度以前実績をもとに予測計算した(予算積算時にも利用しています)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	14.00	14.96	
			一般財源(千円)	9.38	10.86	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年度あたりの搬入量に対する焼却量	t	目標値	98,925.88	99,595.54	103,000.00
			実績値	98,922.03	101,377.51	
			達成度(%)	100.00	101.80	
目標値の積算方法	搬入量(実施値及び計画値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	14.00	14.96	
			一般財源(千円)	9.38	10.86	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。(理由:事業費は増加しているが、処理すべきごみ搬入量も増加しており単位当たりコストでみると事業費増加率よりも低くなっている。)</p> <p>【進捗状況の評価】搬入されたごみを計画的に処理できており、進捗状況は適切である。</p> <p>【今後の方向性】指標数値の評価を踏まえると適切に実施されているが、事業費については、ごみ処理量の増加や経年による設備補修等により今後増加傾向になると思われるが、維持補修計画の吟味を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	資源循環エネルギーセンター	事業名	資源循環エネルギーセンター塵芥焼却処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00668				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	資源循環エネルギーセンター	事務事業番号	00668
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ごみの焼却施設は、第一に市民の安全安心な生活を守る施設であると認識しています。トラブル等でごみ処理に支障をきたすことができない施設のため、各視点からの評価は、すべてにおいて高い評価となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
16時34分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020500	資源循環エネルギーセンター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01671	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり		
細節	26	保健事業の推進/健康危機管理		
予算事業				
所属長	白田 康雄		担当者(内線) 福山(562-1402)	
根拠法令等				
事業開始年度		直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	施設保管用			
目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めること			
結果	新型インフルエンザ等対策に業務上必要な物資を計画的に備蓄しています。			
事業概要	平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めるため、業務上必要な物資を備蓄しています。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
交付先①				
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	116	52	0	0	0
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	116	52	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	116	52	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	116	52	0	0	0
財源計(C+D)	116	52	0	0	0

所属	資源循環エネルギーセンター
事務事業番号	01671

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	新型インフルエンザ等対策として、業務上必要な物資を計画的に確保しています。	目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めること
成果内容	新型インフルエンザ等対策に業務上必要な物資を3年ごとに計画的に備蓄します。	達成状況	新型インフルエンザ等が発生した場合、職員が業務に従事できるよう、業務上必要な物資を2週間分備蓄しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 必要数量分を備蓄品として購入している。) 【進捗状況の評価】 備蓄品は必要数量が所定の場所に保管されており、進捗状況は適切である。 【今後の方向性】 新型インフルエンザ等発生時に職員が業務に従事できるようにするための備蓄品であるが、品物及びその数量については適時吟味しつつ、今後も本事業を継続することが妥当である。		

事務事業分析シート

2018/6/69-36

所属名	資源循環エネルギーセンター	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01671				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	85	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		- ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	資源循環エネルギーセンター	事務事業番号	01671
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、年次の計画的に必要な物資を購入し、備蓄を進めています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)